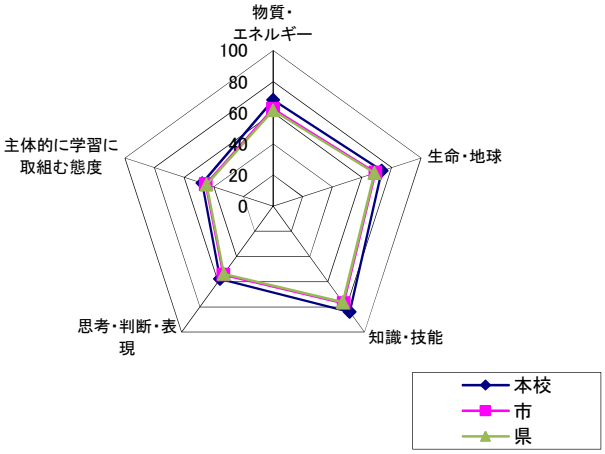
宇都宮市立富士見小学校 第４学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県，市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	68.2	62.5	61.5
	生命・地球	73.5	69.2	68.6
観点	知識・技能	84.0	77.2	76.3
	思考・判断・表現	57.8	54.4	53.7
	主体的に学習に取組む態度	47.8	45.5	44.9



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	○本領域の平均正答率は68.2%で，県の正答率を6.7ポイント上回った。 ○「電気を通す物と通さない物を理解している」の平均正答率は89.5%で，県の正答率を17.8ポイント上回った。 ○「鏡で反射した光を重ねたときの温度の変化を推測できる」の平均正答率は90.4%で，県の正答率を10.7ポイント上回った。 ●「種類の異なる物質を同じ重さにしたとき，体積がどうなるかを資料から考えることができる」の平均正答率は23.7%で，県の正答率を2ポイント上回っているが，平均正答率は低い。 ●「鉄くぎがどのような磁石になるのか指摘できる」の平均正答率は31.6%で，県の正答率を11.5ポイント下回った。	・ほぼ全ての設問で県の正答率を上回り，学習内容を理解していることが分かる。理科に関する基本的な知識はしっかりと身に付いていると思われるので，今後も継続して基礎・基本を押さえながらさらに発展的な問題についても指導していく。 ・身の回りにある物を用いて，体積を同じにしたときの重さの違いを，手ごたえなどの体感を基にしながら比較する。また，物の形や体積と重さの関係を捉えられるように指導していく。 ・生活の中でも磁石の性質を利用したものがあることを取り上げたり，一人一人が磁石を使った実験をしたりすることを通して，磁石の性質について理解できるようにする。
生命・地球	○本領域の平均正答率は73.5%で，県の正答率を4.9ポイント上回った。 ○「虫眼鏡の使い方を身に付けている」の平均正答率は71.9%で，県の正答率を21.0ポイント上回った。 ○「太陽の動き方をもとに，午前10時，正午，午後2時の影のでき方を指摘できる」の平均正答率は47.4%で，県の正答率を11.9ポイント上回った。 ○「ホウセンカの子葉を理解している」の平均正答率は93.9%で，県の正答率を7.5ポイント上回った。 ●「体の特徴から昆虫か昆虫でないかを判断できる」の平均正答率は64.9%で，県の正答率を6.4ポイント下回った。	・ほぼ全ての設問で県の正答率を上回り，学習内容を理解していることが分かる。理科に関する基本的な知識はしっかりと身に付いていると思われるので，今後も継続して基礎・基本を押さえながら，さらに発展的な問題についても指導していく。 ・「太陽と地面の様子」では，方位磁針の正しい使い方を身に付け，時間とともに太陽が動き，かげの動きが太陽とは反対になるということから，かげの動きを推測できるよう，かげも動いていくことを記録を基に考えられるように指導していく。 ・「昆虫の体のつくり」では，昆虫を飼育し観察したり，昆虫の模型や標本を使ったりすることで，昆虫の体のつくりについて理解できるようにする。また，「昆虫」という名称を使用して考察し，昆虫か昆虫でないかの仲間分けを適切に言葉で説明できるように指導していく。